

困難な話題への成員カテゴリーを用いた相互行為的対処 Dealing with Difficult Topics Interactionally using Membership Categories

白田 泰如[†]

Yasuyuki Usuda

[†] 静岡理科大学

Shizuoka Institute of Science and Technology

usuda.yasuyuki@sist.ac.jp

概要

本研究では、日常会話において、それについて話すことに社会的・認知的負担がある困難な話題に対し、会話参加者はどのように対処しているのかということの一端を明らかにする。本研究では、そのひとつの事例として、家族の感染症の予防ということがらが話題にされている場面を取り上げる。当該事例では、当該の困難さが参加者の成員カテゴリーに関連する形で生じている一方、その困難さへの相互行為的対処も、その成員カテゴリーをさらに利用することでなされている。

キーワード：会話、トピック、成員カテゴリー

1. 問題の所在

我々は日常生活においてしばしば、話題について知らないわけではないのにうまく応じることのできない「困難な話題」というものに出会う。本発表では、その一事例として、家庭における感染の予防が話題になっている場面を分析し、困難な話題への対処のやりかたの一端を明らかにする。

2. データ

本研究で扱うデータは、国立国語研究所によって構築・公開された『日本語日常会話コーパス (CEJC)』[1]である。CEJCは日常生活における会話の多様性をできるだけ反映し、さまざまな研究に利用可能な形で提供するため、音声および映像と文字起こしテキストを利用可能な形で提供するほか、以下のような特徴を備えるよう設計されている。

- 200時間分の自然会話データ
- 年齢・性別・属性・会話の種類等の均衡性を考慮
- 形態論情報(品詞、文中の位置、発話時間など)および各種アノテーション

本研究では、当該コーパスに収録された会話のうち、2020年初頭に収録された、ある歯科クリニックの

スタッフミーティングを収めた会話の一部を使用した。

3. 分析

3.1 「感染予防」というトピックの難しさ

以下の断片¹においては、「ちっちゃいお子さんがいる家庭」において、感染の予防について采配する立場としての見解が話されている。この立場をここでは仮に「養育者」としたい。そしてその見解は、それぞれの参加者がどのような立場でその会話に参加しているのかということと関連して扱われている。このことをデータに沿って見ていきたい。

データ1はこの日のスタッフミーティングの中盤において、断片冒頭でB自身が述べているように、「先生」のコロナウイルスに関する話に続けて、各参加者の家庭での「風邪予防とか、インフルエンザ予防とか(10行目)」について「どうゆうことに気をつけてるのか(10行目)」というトピックが導入されたところである。明示的にそのトピックの導入の趣旨を述べている12行目は笑い声を含んだ小声で発されており、冗談めかされているように聞こえる。ここではEのみが笑いによって応じているが、他には明確な反応がなく、Aが明示的な指名の要求を二度にわたって行っている(14行目, 17行目)。

この、トピックの提示から発話の権利ないし義務の割り当てが円滑に進行していないように見えることは、続く部分で、割り当てられた参加者がどのようにその割り当てを実行しているかということにもつながっている。データ2はデータ1の22行目から続く部分である。

Bは順番をEに割り当て、Eが話し始める。この3行目のEの発話は、何らかのあるべき状態からの逸脱

¹断片の中で、特に分析において言及する行は太字で示した。なお、データ1の1行目に言及のある「先生」はAのことで、当該クリニックの院長である歯科医師であり、クリニックの従業員であるB, C, D, E, Fの雇用者にあたる。

データ 1 [会話 ID: W004_010b 0.0 秒-47.369 秒]

- 1 B さっきの先生のコロナの話:(0.3) じゃないですけど
2 A [うん。
3 B [あのなんか (1.1) 最近のニュースで (0.7)
4 コロナがはやり出してからインフルエンザが日本では激 [減してるとゆうので [:
5 A [これを。(Fの食器→棚を指差す)
6 [うん。
(0.6)
7 B やっぱ みんなが手洗いうがいを徹底しているかな なの [かな:みたいなことをやっ[てて:。
8 E [あ すません。(Dに使った食器を渡しながら)
9 A [うんうん。
(0.7)
10 B で ま 今 わたしも風邪引いてるんですけど (0.6) みんな家庭で その (0.2) 風邪予防とかインフルエンザ予防とか (.) ま ちっちゃいお子さんがいる家庭とかでも どうゆうこ [とに気を付けてるのかな:と思って
11 C [うん。
(0.7)
12 B ° ㄥちょっと (.) お聞きしたいな:と [思いましたㄥ°。
13 E [uhuhu [(huhu) ((笑いの後咳き込む))
14 A [ちょっと 振ってみて。
(0.5)
15 D ん。
16 (3.6) ((B 後ろの棚から飲み物をとって飲む))
17 A [順番に振って。
18 D [(haha (0.2) [huhuhuhu)
19 E [uhuhuhuhu [huhu hhh
20 C [(aha [haha)
21 F [hahaha
22 B huhuhu じゃ E さん huhu [hahahahaha [hhh
23 F [hahahahaha
24 E [え

データ 2 [会話 ID: W004_010b 45.016 秒-79.509 秒]

- 1 B huhuhu じゃ E さん huhu [hahahaha [hhh
2 F [hahahahaha
3 E [え ま
(0.2) 基本的なことですけど やっぱ手洗いうがい ()。
(0.6)
4 E あと ちょっと疲れたなって思う時は やっぱ寝ますね。
5 C うん [うん。
6 F [う [ーん。
7 E [hhhh
8 E [そんな。
9 B [ん 子供って [難し:(くない?)。
10 C [ん。
(0.3)
11 E [手洗いはす- 絶対するんです [けど (0.3) やっぱ 下の子がうがいをしないんですよ=。
12 C [ん ん。
13 C [うん。
14 C =う [ん 飲む 飲んじゃうよね。
15 B [う [んうん。
16 E [あの 三歳なんですけど。
17 F [うんうんうん。
18 E いや
19 C 飲まない [の?。
20 E [うがいしよう ん [うがいしないって h
21 C [うん あはは [ー
22 B [んー
23 E [うえーって思う (.) なんですけど
24 C [うん
25 E なんかに一応 (0.9) 今のところは (0.4) 熱は () 出 [てないですけど。
26 B ん [丈夫になったよね なん [か [ね。
27 C [ん ん。
28 F [う [ん うん。
29 C [ん ん。
30 E [鼻は垂れてますけどね。
31 B うーん。
32 C hhh
33 A うん。

を示す noticing of departure[2] の「え」が前置され、続いて「ま」「基本的なことですけど」「やっぱ」という連続したヘッジ表現 [3] を伴って発されている。これらのマーカーはいずれも、後続する「手洗いうがい」が新奇性や特筆性に欠けることに指向しており、それゆえ当該発話が見解として強くは主張しないという態度をともなったものになっているといえる。

その一方で「養育者」というカテゴリーを付与される形で見解を求められていることにより、ここでの見解表明はアンビバレントなものになっていると考えられる。3行目において提示された見解は「基本的なこと」として位置づけられ、特別に有用なこととしては示されていない。にもかかわらず、「ちっちゃいお子さんがいる家庭」において責任を持つ立場として、なんらかの効果的な実践の報告が期待されている。その期

待はほかならぬ3行目において、「手洗いうがい」が多くのヘッジを要するものとして提示されていることから読み取ることができる。「手洗いうがい」は「基本的なこと」であり、「感染予防」の実践として理解可能なものである。しかしそれが切り下げを要するものとして提示されているということは、逆説的にそれでは不十分であるという E の理解を反映しているといえる。言い換えれば3行目において不十分さへの理解を示していることは、このとき E が「養育者」というカテゴリーに基づくふるまいであると同時に、「養育者」というカテゴリーを参照することにより、「手洗いうがい」を不十分なものとして扱っていると考えられることができる [4]。

3.2 「養育者」カテゴリーを利用した難しさへの対処

他方、続く9行目に対する応答(11行目)は相対的に円滑になされている。11行目は、0.3秒の間を置いて、「手洗いは絶対するんですけど」という、9行目の「子供って難しくない?」に対してまず非選好的な内容が示され[5]、その部分を逆接で終え、9行目に対する選好的な内容が発されている。

さらに、このような複雑な構成をとることによって、11行目は具体的で厚い内容を盛り込むことになっている。つまり、この発話はEにとって多くのことを語ることでできることがらについてのもので[6]、相応の内容が盛り込まれていると見ることができる。言い換えると、9行目においてBは抽象的な「感染予防」の話から、具体的な各々の子供のふるまいについての話に接線的に移行し[7]、そのことによりEは自らが独占的によく知っていることがらについて詳しく述べることができているといえる。

さらに言うと、一般的な「感染予防」のトピックは先に述べたように、ある種のアンビバレンツを伴う、難しいものであると見ることができた。それに対して、各々の子供についての具体的な話題は各人が語る権利と知識を十分に有することがらである[8, 9]。ここで、「感染予防」の難しさは、「養育者」のカテゴリーに結びつけられていることに起因していたが、その難しさへの対処も「養育者」のカテゴリーにさらに緊密に結びつけることでなされていると考えられる。これによりトピックやカテゴリーを不連続にすることなく、特定のトピックの難しさに極めてスムーズに対処しているとみることができる。

これ以降、それぞれの参加者は具体的な子供の行動を説明することを經由して、トピックについて語っている。データ3はその一例である。

6行目では、「基本的な手洗い」についての言及は相対的に少なく、直後に具体的なエピソードの語りに移行している。記述されているのはCの子供のふるまいである一方で、この記述は「子供はどうしても」という枠付けで記述されていることから、一般的な「子供」が共有する性質として提示されているといえる。翻ってデータ2におけるEの記述も、11行目の「やっぱ」は一般性への指向を示しているといえる。このように、自分の子供という特定の個体のふるまいについての記述であるにもかかわらず、それが一般的に「子供」に共有されているものとして提示されていることにより、聴き手は語り手と同じ「養育者」というカテ

グリーを担う立場(共-成員)であることに語り手が指向しているといえる[10]。そしてそのことが聴き手にも理解されていることは、例えば14行目のように、語られた状況において「子供」がやりそうなことを再現してみせることや[11]、27行目のように類似の経験に基づく理解が示されることなどに表れている。

3.3 共-成員性と経験を語る権利

もう一度データ2を見てみたい。後半部分を見ていくと、同じカテゴリーを担い、類似の経験を有することとは別の指向もみてとれる。既に3.2において見たように、11行目においてEは自らの子供のふるまいを記述している。そして、この点も3.2において述べたが、自らの子供に関する具体的な困難の話は、Eにとって、そしてこの場の「養育者」カテゴリーを担う参加者たちにとって、「汲めども尽きせぬ話題」である。そのような性質はデータ2の後半において具体的に観察される。

11行目において示された「うがいをしない」という問題に対して、14行目でCは同じ問題を抱えているというスタンスを表示し、「飲んじゃうよね」という理解候補の提示を行う。これに対してEは、11行目の続きを中止し(16行目)、「いや」(18行目)「うがいしようんうがいしないって」(20行目)と、Cが提示した理解候補とは異なる仕方でも「うがいしない」という問題の精緻化を行っている。

Eは自分の子供のふるまいについて特別な認識的地位を持っており、18行目はそれを反映したものと見ることができる[8, 12, 9]。同時に、そのような特別な地位が例証されることにより、その地位に伴う責任をEが全うしていることも主張されていると考えられる。そしてそれは、「感染予防」について一般的に述べる際には多くを述べることでできていないこととは対照的に見える。11行目から20行目における、共通の経験と独自の経験の交渉、および特別な地位の例証は、共通の経験を例証することとは違った仕方でも「感染予防」の難しさへの対処になっていると考えられる。

4. おわりに

本発表で用いた会話断片においては、「ちっちゃいお子さんがいる家庭」における「感染予防」がトピックであり、そのトピックは「養育者」というカテゴリーと結びつけて提示されていた。このことはそれを十全に行う責任への指向と、実際にはごく「基本的なこと」しか報告できないことへの指向によりアンビバレ

ントな難しさを伴う。本発表で扱った会話では、その難しさは「養育者」として子供について語ることで対処されていたといえる。

謝辞

本研究は、国立国語研究所機関拠点型基幹研究プロジェクト「大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的研究」(プロジェクトリーダー・小磯花絵)による成果に基づいて行われた。また日本学術振興会科学研究費交付金若手研究「日常会話コーパスを用いた「課題」に基づく会話の分析:定量・定性の両面から」(研究代表者:白田泰如)の成果である。

文献

- [1] 小磯 花絵, 天谷 晴香, 居關 友里子, 白田 泰如, 柏野 和佳子, 川端 良子, 田中 弥生, 伝 康晴, 西川 賢哉 and 渡邊 友香 (2023) “『日本語日常会話コーパス』設計と構築,” *国立国語研究所論集*, vol. 24, pp. 153-168.
- [2] Makoto Hayashi (2009) “Marking a ‘noticing of departure’ in talk: Eh-prefaced turns in Japanese conversation,” *Journal of Pragmatics*, vol. 41, no. 10, pp. 2100-2129, communicating Place, Space and Mobility.
- [3] George Lakoff (1973) “Hedges: a study in meaning criteria and the logic of fuzzy concepts,” *Journal of Philosophical Logic*, vol. 2, pp. 458-503.
- [4] Harold Garfinkel (1967) *Studies in Ethnomethodology*, Englewood Cliffs, New Jersey: Prentice-Hall Inc.
- [5] Anita Pomerantz in *Structures of Social Action: Studies in Conversation Analysis*, chap. 4, Cambridge, U.K.
- [6] Harvey Sacks (1992) *Lectures on Conversation Volume 1 & 2*, New Jersey: Wiley-Blackwell.
- [7] 串田 秀也 (1997) “会話のトピックはいかに作られているか,” in *コミュニケーションの自然誌*, ed. 谷泰, 東京: 新曜社, pp. 173-212.
- [8] Gail Jefferson and John R. E. Lee (1992) “The rejection of advice: Managing the problematic convergence of a ‘troubles-telling’ and a ‘service encounter,’” in *Talk at Work: Interaction in Institutional Settings*, eds. Paul Drew and John Heritage, Cambridge: Cambridge University Press, pp. 521-548.
- [9] Geoffrey Raymond and John Heritage (2006) “The epistemics of social relations: Owning grandchildren,” *Language in Society*, vol. 35, no. 5, pp. 677-705.
- [10] 串田 秀也 (2005) 会話における参加の組織化の研究: 日本語会話における「話し手」と「共 - 成員性」の産出手続き, Ph.D. thesis, 京都大学大学院人間・環境学研究所.
- [11] 白田 泰如 (2017) “態度や関心の共有のための資源としての演技: 雑談における演技の分析,” *社会言語科学*, vol. 19, no. 2, pp. 43-58.
- [12] John Heritage and Geoffrey Raymond (2005) “The terms of agreement: indexing epistemic authority and subordination in talk-in-interaction,” *Social Psychology Quarterly*, vol. 68, no. 1, pp. 15-38.

データ 3 [会話 ID: W004.010b 120.827 秒-166.348 秒]

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | B | えじゃあ C さん。
(0.3) |
| 2 | D | ku[hu [hhhh [hhhhhhhhhhhh |
| 3 | B | [hu [huha [hahahahaha |
| 4 | E | [n [huhu[huhu .h hhhhh ((咳)) |
| 5 | F | [nhu [hahahahaha hhh .h |
| 6 | C | [えー hhhh ((笑いながら上を向く)) うーん () まあ基本的な手洗いとかですけど: 先:(0.4) 週: 先週末ぐらいから ちよと旦那さん体調:悪くなったので, (0.4) ま旦那さんだけ か- 隔離して: 親子三人で こう別の部屋で (0.4) 寝てるんですけど, (0.2) 子供はどうしてもそういう 普段と違う感じになると [気になっちゃって: [その感 [染源がいるほうに行っちゃう んですよ。 |
| 7 | B | [うんうんうんうん |
| 8 | E | [うん |
| 9 | D | [うんうんうん |
| 10 | E | [か h n h せ h n h げ h n [h .h hahahahaha |
| 11 | B | [hu [huhahaha |
| 12 | C | [なんか ちよと うん これ届ける:とか |
| 13 | C | [ちよとこれ見せたい [みたいな= |
| 14 | D | [ちらって ((ドアを開ける仕草)) |
| 15 | E | [うん hh |
| 16 | B | [あ::::[:::::::::: |
| 17 | D | [うん [うんうん |
| 18 | E | [うん [うんうん |
| 19 | C | [=で いかにそれを こ- 阻止 [するか? |
| 20 | E | [hhhhh [hhhh [nhu nhu |
| 21 | C | [うん [うんうんうん |
| 22 | C | [近づけさせないよ |
| 23 | F | [うにするかってゆうのが [あ::::: |
| 24 | C | (0.3) 意外にちょっと大変 (.) [でしたね うん まだ聞いてくれない [ので うち ちゃんと。 |
| 25 | B | [う::::::::::ん。 |
| 26 | E | [確かに:。 |
| 27 | E | [うん ちっちゃいと特に き- [行きたいってなりますよね。 |
| 28 | C | [うん (.) 行っちゃうんで。 |